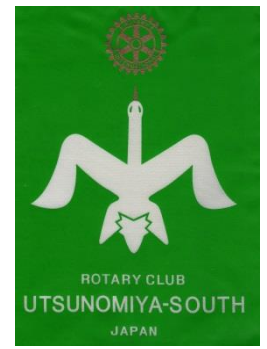


## 2013-2014 年度 第 1624 回例会 宇都宮南ロータリークラブ会報

会長：小塚照夫 幹事：中野智之 会報委員長：佐々木隆  
 例会場及び例会日：ホテルニューイタヤ ≪水曜 12：30≫  
 事務所：宇都宮市大通り 2-4-6 ホテルニューイタヤ内  
 TEL:028-635-5511 (ホテルニューイタヤ)



4 月 第 1 例会

2015 年 4 月 1 日 (水)



会員数 46 名 出席 28 名



司 会

坂井 俊司 S.A.A

- 国歌斉唱「君が代」
- ローターリーソング「奉仕の理想」



ビジター紹介

物井 栄三郎 親睦委員

§ 佐伯 秀利 様 (宇都宮北 RC)



会長挨拶

小塚 照夫 会長

皆様こんにちは。

心浮き立つ春を代表するものが桜の花です。誰もが桜の美しさに心をひかれます。どこに咲いていても人目につき、花のあでやかさにその存在感を思います。4 月から始まる新年度、1 年間忘れられない事、忘れてはならない事の始まりがやって来ました。

先週の職場訪問は、皆様ご苦労様でした。菊池会員 若月会員の経営する事業所であるセルクリーンセンターを訪問し、最新鋭の設備を見せて戴き、環境問題を考える 1 日を過ごさせて戴きましてありがとうございました。

本日は、皆様にご通知してあります、臨時総会を開催する事となっております。よろしく御協力下さいます様、お願い致します。

また、卓話に我が人生を語る第 7 回目、鈴木秀明会員にお願いしてあります。よろしくお願い致します。



幹事報告

中野 智之 幹事

§ 4 月のロータリーレート 1 ドル=118 円

§ 米山梅吉記念館 館報が届いております。(回覧)



## 臨時総会

議案：理事1名増員の件 可決



## 4月のお祝い事 枝野 修一 委員

- § 会員誕生 若月章男会員・若林博純会員・小林裕会員・坂井俊司会員・山本敬三会員
- § 入会記念 高久和男会員・田口久雄会員・小林裕会員
- § 夫人誕生 黒崎文博会員
- § 結婚記念 金田秀壽会員・荻原英美会員・小保方信聴会員・坂本昭一会員・藤島拓会員  
嶋田辰雄会員
- § 創立記念 坂本昭一会員 (株)新光印刷 ・ 若林博純会員 (株)若林  
高久和男会員 イートランド(株) ・ 田口久雄会員 (株) ツインズ  
菊池功会員 (株)八幡 ・ 黒崎文博会員 (株)輝工業



## 皆出席表彰

- 仲田 俊夫 会員 1989年3月より27カ年
- 田中 正夫 会員 1999年3月より17カ年
- 山本 敬三 会員 2012年1月より3カ年
- 小塚 照夫 会員 2013年3月より3カ年
- 中野 智之 会員 2013年3月より2カ年



## ロータリー財団・米山記念奨学会 表彰

- 喜内 敏夫 会員 ポールハリスフェロー
- 村田 宏明 会員 米山功労者



## インターアクト委員会報告 関 享一 委員長

- § 南風インターアクトクラブより、昨年度の文化祭に於いてバザーの収益金 25,070 円を難民支援基金としてお預かり致しました。
- § 地区インターアクト台湾研修に参加しました。(ロータリアン4名・教員9名・参加者35名)
- § 地区足尾植樹が4月25日(土)に開催されます。後日ご案内致します。
- § ロータリー財団基金 地区補助金 覚書書を事務局に届けました。今後、申請書の作成等がございますので、皆様のご協力をお願い致します。



## ゴルフ同好会報告

村上 芳弘 会長

§ 5月6日(水)市内10クラブ親睦ゴルフ大会が開催されます。ゴルフ同好会として初めて参加を致しますので、多くの皆様にご参加戴きたいと思っております。



## スマイルBOX 委員会報告

青木 克浩 委員長

- § 藤井康夫副会長 先週の土・日で次年度の会長研修会に行っておきました。いよいよだと感じました。皆様、よろしくお願い致します。
- § 中野智之幹事 今日元気な笑顔です。鈴木会員、本日はよろしくお願い致します。
- § 小保方信聡会員 例会に病後初めて出席させて頂きます。懐かしい顔ぶれ、嬉しいかぎりです。
- § 関 享一会員 第2550地区インターアクト台湾研修から無事帰って来ました。
- § 鈴木秀明会員 本日は卓話させて頂きます。よろしくお願い致します。
- § 仲田俊夫会員 鈴木会員の卓話、どのような話になるか楽しみです！
- § 坂井俊司会員 本日は、4月1日のエイプリルフールですが、鈴木会員の真実の姿を今日はお話うかがえるかと楽しみにしています。
- § 田中正夫会員 尊敬する鈴木さんの卓話、楽しみです。
- § 菊池 功会員 セルクリーンセンター見学、ありがとうございました。
- § 磯田 賢会員 先週のセルクリーンセンターの視察、ありがとうございました。最先端の素晴らしい施設、且つ従業員の皆様の接客に感動しました。
- § 笠原正人会員 先日の我が写真クラブにはロータリークラブ会員にご来場戴き、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。
- § 村上芳弘会員 いよいよ桜の季節です。皆で花桜を楽しみましょう。
- § 高久和男会員 仕事に追われて3回休んでしまいました。罰ゲームスマイルします。
- § 喜内敏夫会員 桜の季節となりました。当社も本日が第40期の始まりです。今年度もよい年である様に願っています。
- § 平澤照隆会員 花見月ですね、お酒が美味しい。
- § 小林 裕会員 第3回私募債を発行しました。公私共に絶好調です。
- § 荒井健次会員 妻誕生ありがとうございました。
- § 青木克浩委員長 昨日、甲子園参加費50万円を払い込みました。かき集めてもまだ不足しています。熱闘甲子園募金のご協力、よろしくお願い致します。

多くの会員の皆様にご協力戴きありがとうございました  
 互理ロータリークラブワンコイン支援  
 甲子園募金

今週の金額 23,000円  
 今週の金額 0円  
 今週の金額 7,170円



## 鈴木 秀明 会員

### 第一部 私の生い立ち

私は旧国分寺町小金井で生まれました。幼稚園で埼玉県浦和市に引っ越し、小4の時に小山に越してきました。それは祖父が務めていた会社の転勤の関係です。父もその会社に勤めていましたが、脱サラして小山で起業しました。そして、高1の時会社を宇都宮に移転しました。



私の家系の話しをしておきます。私の祖父方は宮城県白石市出身で、伊達白石藩の片倉小十郎に師事していたらしいのですが、本当のことは分かりません。現在の白石高校跡に武道場が在って、幕末までその剣術の師範をやっていたらしいとのこと。私の祖母方は宮城県旧中新田町出身で、これも怪しいのですが、伊達政宗の乳母を努めた家系とのこと。それと、我が家は父と祖父、そして母と祖母も血縁関係が有ります。祖母に子どもができず、祖父の甥を養子にし、つまり父ですが、その後20歳を過ぎた頃に祖母の姪とお見合いをして結婚したと言うわけです。更に、私が仙台で知り合って結婚した家内も同郷で、たまたま家内の母と私の母が知り合いでした。小学校も一緒だったそうです。

私の子どもころは、祖父祖母に育てられました。祖父は技術者でした。宮城県で10人兄弟のバッチっ子に生まれ、相続する田畑が無く教育だけは受けさせてやるということで、技術系の専門学校に行くことができました。後で考えるとそれがよかったと思います。当時は日本酸素の本社工場で技術の責任者をやっていました。祖母は大変な教育おばあちゃんで、いつも聞かされていた話があります。戊辰戦争で会津藩が敗れ、まもなく伊達藩も降伏し、「白河以北一山三文」と蔑まれ、そこから立ち上がるためには学問しかなかったということ。その時の仲間たちは、ほとんどが北海道に渡り開拓で苦労したこと。白石藩は札幌郊外に白石村を開村し、それが現在の札幌市白石区です。また、岩出山藩は札幌の北部に位置する当別町を開拓しました。そんな訳で今でも北海道には親戚が多くいます。ところで、祖母には教育の一字しかありませんでした。口を開けば東北大に入れるように勉強しろと、しかも医学部です。私は物心がついた時には、東北大医学部という言葉を知っていました。

しかし、当の私は父母から離されていたこともあり精神的に不安定で、きかん坊に育ち、今で言うADHD=多動性行動障害だったと思います。小学校に上がるとそうとうの問題児にもなり、だいぶ先生を困らせていたようです。喧嘩ばかりしていて、子分もたくさんいました。4年生になり、父の脱サラのタイミングで小山市に引っ越し小山第一小に入りました。言葉が東京弁だったことで、ずいぶんいじめられました！実は売られた喧嘩はすべて買い、向かうところ敵無しという所までいきました。特に進級した小山中学校は当時地元最悪の荒れた学校でした。

高校時代は、小中学校時代の経験から柔道部に入りました。この世は頭脳だけでなく腕力も無ければ生きていけないという自分流の人生哲学からです。でも、栃高は超弱く実力は栃木市内でピリでした。その中で私は実力ナンバー1となり、初段を取り1年の3学期には部長になりました。その時の副部長は一ツ橋に入り、住友銀行に入社し、頭取候補の2人にまで絞られた人です。今は日本総合研究所にいます。その後私は希望の大学に入りましたが、4年で退学してしまいました。その訳は長くなるので割愛します。実はその後慶応の通信課程で「哲学」を学び、半端で終わりましたが、最終的には放送大学で「発達と教育」課程をちゃんと修了しました。



## 第二部 会社と私

私は大学中退後仙台でサラリーマン生活をし、その間結婚もしていました。結婚時の苦労話をします。私が大学を中退した時、父は家に戻って会社を継げと言いました。しかし私は仙台に留まりました。理由は、父が脱サラをした後2度会社を潰し、1度目は小学校6年の時で生活保護家庭を経験し、2度目は大学に入った直後で仕送りが無くなり、そのためアルバイトに明け暮れし勉強がおろそかになってしまい、中退した原因の一つにもなっていたということです。そして、3度目の会社は昭和48年に立ち上げたビルメンテナンス業で、父は今度こそは大丈夫というけれど、わたし的には絶対に父とは会社経営はしないと決めていたからです。その結果「勘当」されることになりました。

天涯孤独の身になってみると寂しさが込み上げてきて、早く家庭を持ちたくなりました。そんな時家内と知り合いました。彼女は内気でとても大人しく見えたが、高校時代はソフトボール部のキャプテンをし、サードとピッチャーだったとのことでした。宮城県大会で優勝し国体にも出たそうです。そのためか腕力が有り気も強く、結婚した当時夫婦げんかになった時、私が1発殴ったら、10発以上返ってきて怖い思いをしたことがありました。それからは喧嘩をしていません。何か飛んできて痛い思いをしても、ガマンの一字です。そんな時は柔道をやっていてよかったなと思いました。当時家内は仙台市役所のガス局保安課に居て、男性50名の中で1人だけ女性で、職員の福利厚生の仕事に就いていました。しかし大きな障害がありました。勘当の身であったために両親を彼女の実家に挨拶に連れて行けなかったことでした。その後田植えを手伝い、稲刈りなどを手伝いながら信用を勝ち取り、めでたく結婚することになりました。ただし条件が一つ、ずっと仙台を離れず、家内の実家に近い場所に居てほしいということです。彼女が長女だったこともあり、その後ささやかな結婚式を挙げましたが、頑固な父は会場にも来てくれませんでした。別に恨んではいません。私も父の心境が分かるような年頃になってきました。

しかし、それもつかの間で1年も経たない内に人生の一大事に直面してしまいました。あれほど強気だった父が、糖尿病で体重が90キロから40キロ代にまで落ちて、もう先が無いから跡を継いでくれと頼みに来たのです。私には頭を下げたことのない父でした。弟も頼みに来ました。家内は当時妊娠6か月で、しかも宇都宮に行くことイコール公務員を捨てなくてはならないのです。その当時の仙台市は市長が革新市長会の会長を務め、ラスパイレス指数も高く、その中でガス局は稼ぎ頭で給与的にも優遇されていました。もちろん収入は私より上でした。親戚中の期待の星でもあり、何よりも家内の両親・家族を裏切ることになるのです。私は半年以上悩み続けました。

そこで悩んだ末に決めました。会社を継ごう！家内を説得し、実家を説得し、世話になった会社にも別れを告げよう！その代り、絶対に成功させよう！家内には公務員の時よりもっといい生活をさせよう！家内の実家にも恩返しをできるようにしよう！そんな決意で、宇都宮に戻って来ることになったのです。

昭和53年6月3日、宇都宮の生活がスタートしました。父が事務所兼住まいを新築し迎えてくれました。その後まもなく長男も生まれました。初めは給料も決めずに働き、必要経費だけ貰いました。私の最初の仕事は、当時ビル管理法の制定で必要となった資格の取得でした。家内は祖母に代わり事務と電話番を初めました。そんなことを暫くやりながら、自分の立場に不安を抱くようになりました。ビルメンテナンス事業は、当時ずいぶん体調が回復した父と姉と弟でやっているし、バブル景気も始まり業績も順調に推移していました。資格も取り終わった私は何をすればいいんだろうと悩む日々が続きました。

実は私の父が最初に会社を興したとき、自分の経験を活かし特殊ガスの販売会社を始めたのですが、親戚の方からの紹介で当時日本に進出したばかりのシエル石油系の業務用洗剤メーカーの栃木県の代理店資格を取っていたのです。ついででやっていたため、売上は100万円/月程度で、当時としても1人分の給与も出ないくらいでした。しかし、メーカー担当者の強い勧めもあり、その部門を担当してみることになりました。そして更に追い風が吹きました。少ない洗剤の売上を補完するためIHIの自動食器洗浄機の修理を習得し、北関東の修理指定工場になったばかりのころでしたが、メーカーがその専用洗剤の研究・開発・販売に乗り出してきたのです。私はもともと理系で機械いじりが好きで、化学の基礎知識もあったため、みるみる内に技術力を身に付けました。人と話すことも苦でなかったため、セールスエンジニアとして実力を付けていきました。

当時は日本中の給食現場や、ホテル・病院・飲食店等に次々に食器洗浄機が導入され、専用洗剤の需要が一気に高まったころでした。また、もう一点当社の追い風となることができました。最初に日本に入ってきた食器洗浄機はほとんどが外国製だったため、中には日本を撤退して部品の供給も難しい機械もありました。私は電気の知識も多少はあったので、シーケンスを作り変えて配電盤を改良し、国産の部品で機械を復活させることもやりました。やがてうわさは広がり、これは眉唾物ですが、「洗浄機の神様」と言われるまでになりました。「鈴和の息子に見せれば、どんな故障でも直せるぞ」という具合です。そして気が付いてみると、機械用洗剤を全国のどの特約店よりも早く取り組んでいたことが功を奏し、全国で最下位（100社程度）の実績から5年ほどでベスト10入りし、10年経った昭和63年には栃木県単独で全国1位となりました。その間昭和57年には福島県の販売権を取得し、59年には私どもの故郷である宮城県の販売権も取得しました。そしてメーカーからの勧めもあり、昭和63年4月1日に株式会社鈴和商事部は、株式会社クリーンテックとしてメーカーの資本も受入れ、合弁会社として独立することになりました。その後更に3社を吸収合併し、栃木・福島・宮城・東京西部にまたがる業務用洗剤専門商社として今に至っています。実は今日から茨城県もフリーエリアとなりました。

一方親会社の株式会社鈴和は父が病床に伏した後私が代表に就き、弟が専務に姉が常務に就き、何とか今に至っています。現在北は山形県、西は飛騨高山に至るまで、ビジネス・観光・都市ホテルや官公庁の建物、テナントビル等のビルメンテナンスを中心に営業しています。

### 第三部 私の地域活動

私が40歳になった時、我が家に8年ぶりとなる子どもが誕生しました。3男として4人目の子どもです。しかし、私の配慮の足りなさから家内は体調を崩し、その子は6ヶ月の早産で生まれてしまいました。体重は705グラム、10ヶ月間保育器の中で育ちその間酸素の影響で、未熟児網膜症を患い、知的障害と後に自閉症との診断も受けました。それまでの私は超仕事人間で、家庭も顧みずに仕事に没頭し、休みの日に子どもたちと関わることもありませんでした。会社を伸ばすことだけが家庭の幸せにつながると信じていたのです。おかげさまでその当時は鈴和もクリーンテックも好調で、特にクリーンテックでは私の働きが認められ、代表に就いたばかりでした。

丁度そのころ私は頼まれて、子どもたちが通っていた小学校の副会長を受けていましたが、何年経っても、仕事を理由に会長を受けることはありませんでした。しかし、4人目の子が障害を持って生まれてきたのを境に、神様が自分の会社のことだけではなく、自分のこれまで培ってきたことを社会に還元していくべきとのメッセージを与えられているのだと考えるようになりました。それと、学生時代から日本の教育に関心を持ち、多少いろいろな教育理論書や哲学・思想書に没頭していた時期が有り、自分なりの教育論を持っていたことで、ついに会長を受けることになりました。

そのころの単位PTAは何年以上務めると退任という規定はあまり無く、現に十年以上の人も多かったような記憶があります。私も結論を言うと、小学校で部長1年副会長4年会長5年、中学校で会長3年、通して13年間（会長としては8年間）現役でPTA役員をやっていたこととなります。子どもが続いたので、退任するタイミングが取りづらかったという理由もあります。

複数年会長を務めると、市の連合会から役員への声がかかります。私は3年目に声がかかり常任理事から始まりました。そして翌年には筆頭常任理事となり、次には末席副会長となりました。ちょうど5年目です。これまでの役員選出は、波風が立たないように古い順にという流れでした。それで次のポストは上位役員の子どもの小さいのであり得ないと決めてかかっていた。しかし次の年、上位2名の副会長がとあるまずい事情で辞任してしまいました。その為私はいきなり筆頭副会長になったのです。しかし安心もしていました。その当時の会長は5年も現職についていましたが、まだ小学校低学年にお子さんが居るのです。ところが、ここで県・市を巻き込んだPTA史上最大のクーデターが起きたのです。これを話すと長くなるので割愛します。その結果、当時の栃木県PTA連合会長が退任し、宇都宮市の連合会長が返り討ちに合い同時に退任したのです。私は何が何だかわからないままに市の連合会長になってしまいました。会長7年目の5月でした。

そこから私には更なる不運が待っていました。失脚した県の前会長が選任したPTA連合会長が、平出のパナソニックの社員だったのですが、その年の8月ころ工場が操業停止となり、彼は神戸に移動になってしまったのです。私は県の副会長職も兼任していたため、その年は代理で会長職を務め、翌年には誰に反対されることなく栃木県のPTA連合会長に選出されました。会長になって8年目、PTA活動を始めて13年目でした。しかもこの年度で子どもはすべて卒業でした。

この2年間は私の人生の中でも最も忙しい期間でした。市の連合会長も県の連合会長も、数十ずつの充て職があり、しかも日本PTAの会議も、東京だけでなく全国各地で開かれました。特に市と県を兼任した時は地獄のようでした。現に私の後の県の会長は、4年務めて会社を潰し、そのあとの会長も市を5年、県を2年務めて会社を潰しました。私は市県合わせて2年だったので、何とか持ちこたえました。

しかし世の中はそう甘くはありませんでした。県のPTA連合会には関連団体や上部団体があり、ちょうどその時の会長さんが高齢で、引退を考えていたところでした。私も充て職でその会議には出ていたのですが、私の硬派的な考えを気に入ってくれて、「私の後継者は君しかない。」と2代目に勧められたのです。その当時でもその初代会長は、すでに20年以上その職にありました。私は「栃木県PTA安全共済会」2代目の会長という新たなポストに就くことになりました。またその組織には更に関連団体がつながっていて、私はその後「栃木県義務教育振興協議会」会長と「とちぎ教育の日」実行委員会副会長という充て職も努めることになりました。その3団体は故鈴木勘次郎氏がすべて立ち上げ、私に譲った後数年で亡くなりました。ご冥福をお祈りいたします。現在私はそれらの団体を10数年努めました。ようやく後継者ができ、今年度ですべてのポストを譲っていく予定です。

数年前から、私は一番下の障害を持った子の関係で「栃木県特別支援教育手をつなぐ親の会」の会長を受けています。これは、県内公立小中学校の特別支援教室と県立特別支援学校の保護者と教職員で組織されている団体です。歴代会長が長く在籍しているので、私もライフワークのつもりでこれに取り組む覚悟です。最終的にこの会の目指す所は、インクルーシブ社会の実現ですが、このことについては長くなるので割愛します。

## 出席報告 嶋田辰雄 委員

会員数 46名 前々回 3月18日  
 出席数 28名 訂正率 75.00%  
 欠席数 18名  
 出席率 68.29%

## 次回例会

2015年

4月8日(水) 夜間例会  
 お花見お茶会  
 下野市 竹楓園



## プログラム

月 日	時 間	内 容
4月1日(水)	12:30~13:30	会員卓話：鈴木秀明 会員 「我が人生を語る」
4月8日(水)	移動夜間例会	お花見例会：下野市 竹楓園
4月16日(水)	12:30~13:30	外部卓話：帝国データバンク宇都宮支店 支店長 加藤 勉 様
4月22日(水)	12:30~13:30	外部卓話：(株)NHK グローバルメディアサービス スポーツ事業部 エグゼクティブプロデューサー 北出 幸一 様